

まほろば【校長室だより】

[文責]

校長 江口 尋信

令和7年度の運動会について

4月というのに「夏日」になったかと思えば、冷たい雨が降って肌寒さを感じる日があるなど、日によって気温の差が大きく、体調を崩してしまう子どもも増えています。日々の体調管理には十分お気をつけください。

ニュースで知ったことですが、あの鍛え抜かれた消防士さんでさえ、春先から、夏の暑さに順応するために「暑熱順化トレーニング」を計画的に行っていくのだそうです。記録的な猛暑続きであった昨年度ほどではないかもしれませんが、本年度もまた暑くなりそうです。

さて、5月24日（土）には本校の運動会が予定されています。連休明けから本格的に練習を始めていくことになります。本年度は、数年ぶりに、全校児童が運動場に集合して実施しようと考えています。本校では、昨年度まで、全校児童が教室に待機しオンラインで運動場の様子を見て、自分たちの学年の出番が来ると運動場に出て行って演技をしていました。この方法は、近年の暑さ対策として取られた方法ですが、下のようなデメリットもあります。

一つは、太宰府小学校の一員として一体感を感じる貴重な機会を失くすということです。運動会は「入学式」「卒業式」と並び、学校の三行事の一つであり、唯一全校児童で一緒に行うことができる行事です。全校が太宰府小学校の一員として一体感を感じるができる貴重な機会と考えています。教室に待機してオンラインで行うことで、その貴重な機会を失くしてしまうことになります。

二つは、学年間での学び合いの貴重な機会を失くすということです。低学年の子どもたちが、上級生の俊敏で、力強い演技を見ることは、子ども同士が学び合う貴重な機会と考えています。また、上級生にとっても励みとなります。自分たちの学年だけが運動場に出て演技をすることで、見て学ぶこと、見てもらって頑張る貴重な機会を失くすことになります。

とはいえ、やはり、学校で最も大切なことは子どもたちの「安全」です。5月下旬頃は、今以上に気温が高くなることが予想されます。また、微小粒子状物質（PM2.5）にも注意する必要があります。そこで、運動会を開催するにあたっては、暑さ指数やPM2.5の状況に注意し、必要な安全対策を講じていきたいと考えています。例えば、場合によっては、子どもたちの安全を第一に考え、柔軟にプログラムを変更したり、休憩時間を設けたりすることもあります。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

朝の登校風景

雨の日。朝の登校を見守るために裏門に立っていると、上級生と下級生が二人で登校してきます。よく見ると、上級生が下級生に傘を差してあげ、自分は濡れながら歩いています。何と微笑ましいことか。これで今日も一日元気に頑張れます。